

没後10年

ふる た たる ひ



古田足日の



ぼうけん



2024/8/10(土) → 9/29(日)

おもしろから原っぱへ、神話からSFへ——子どもたちの新しい物語を追い求めた児童文学者の冒険



開館時間=9時30分~17時(入館は16時30分まで) 休館日=月曜日(8月12日、9月16日、23日は開館)

観覧料=一般500円(350円)、65歳以上・20歳未満及び学生250円(200円)、高校生100円(100円)、中学生以下は無料
* ()内は20名以上の団体料金

編集委員=佐藤宗子、宮川健郎

主催=県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会 特別協力=白梅学園大学・白梅学園短期大学、白梅学園大学附属白梅幼稚園、童心社

後援=神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、一般社団法人日本子どもの本研究会、一般社団法人日本児童文学者協会、

NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、+vkk 協賛=相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会 広報協力=KAAT 神奈川芸術劇場

おもしろの
ぼうけん 50

横浜・山手 港の見える丘公園内 Kanagawa Museum of Modern Literature

[子ども同伴割引]中学生以下のお子様を同伴の方は、本チラシの持参で観覧料が団体料金になります(5名様まで有効)

県立神奈川近代文学館

〒231-0862 横浜市中区山手町110 TEL045-622-6666 <https://www.kanabun.or.jp>

東急東横線直通・みなとみらい線 元町・中華街駅 6番出口から徒歩10分

ふる た た る ひ
没後10年 古田足日のぼうけん

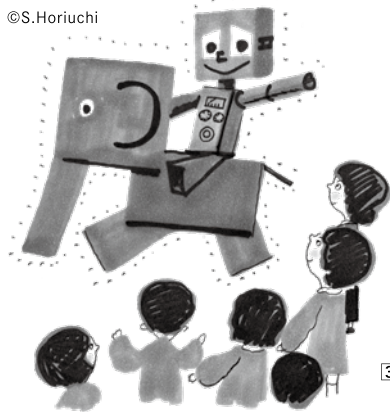
古田足日が画家・田畑精一と共に
つくった絵本『おしれのぼうけん』が

生まれて今年で50年です。おしれの中でくり広げられる子どもの不思議な冒険をえがいた同作をはじめ、『宿題ひきうけ株式会社』『ロボット・カミイ』など、はげしく変化する現代社会で育つ子どもの姿をあざやかにとらえた古田の作品は、子どもたちの支持を受けて読み継がれています。一方で古田は、児童文学の可能性をさぐる評論家としても活躍し、子どもを取りまく社会問題や平和運動にも、その中心となって取り組みました。本展では、当館がご家族から受贈した原稿や創作メモのほか、白梅学園に寄贈された旧蔵書や、田畑精一、久米宏一、堀内誠一らによる代表作の原画をもとに、子どもたちの生きる力になる新しい児童文学を追い求めた〈古田足日のぼうけん〉をたどります。

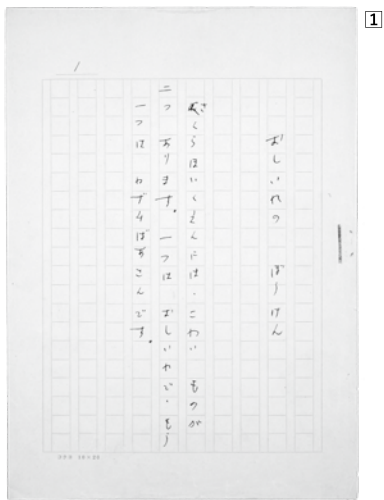


古田足日 (1927-2014) 撮影・伊藤英治

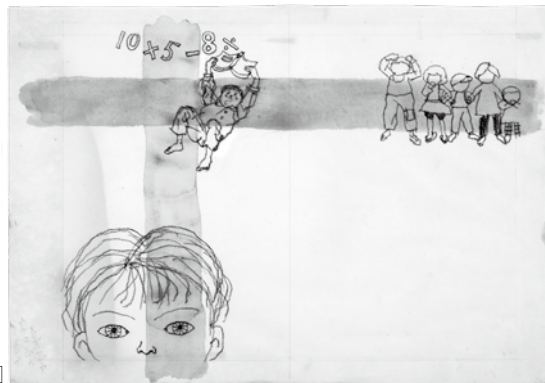
©S.Horiuchi



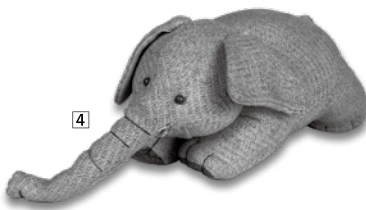
③



①



②



④

①『おしれのぼうけん』草稿 1974年11月 童心社 古田の代表作のひとつ。保育園へ取材して、画家の田畑精一、編集者の酒井京子と何度も話し合いながら書き直した。当館蔵・古田文恵氏寄贈

②久米宏一画『宿題ひきうけ株式会社』表紙習作 1966年2月 理論社 宿題に疑問をもって自ら行動を起こす新しい子ども像をえがきだし、第7回日本児童文学者協会賞を受賞した。

③堀内誠一画『ロボット・カミイ』原画 1970年3月 福音館書店 わがままで泣き虫なダンボール箱のロボットが主人公の幼年童話。古田は本作で、幼い子どもの「成長の節」をとらえようとした。

④坂根純子作「ちびぞう」 1960年3月、古田の長女誕生を祝い、田畑精一夫人で人形作家の坂根から贈られた手作りのぬいぐるみ。『くいしんぼうのロボット』や『ロボット・カミイ』に登場する。

※ ①以外はすべて個人蔵

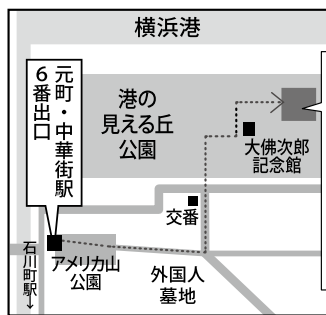
本展関連イベント ※詳細はホームページ等でご確認ください。

- ・①～③=要事前申込。お電話 (045-622-6666) またはホームページの申込フォームで、お名前・電話番号・希望日・人数をお知らせください。先着順で定員になり次第締め切ります。ワークショップのみ抽選。
- ・会場: ①②③(映画会)=展示館2階ホール(各日定員220名)、③(紙芝居・ワークショップ)=展示館2階中会議室(定員:紙芝居60名/ワークショップ各回10組20名)、④⑤=展示館1階エントランスホール

- ①花音朗読コンサート『没後10年 古田足日のぼうけん』に寄せて(共催:語りと音楽・花音) 9/7(土) 13:30～ 出演:語りと音楽・花音 参加無料
- ②講演会『おしれのぼうけん』誕生の秘密 9/15(日) 14:00～ 講師:酒井京子(童心社会長) 料金:一般1,000円(友の会会員800円)
- ③かなぶんキッズクラブ 参加無料/小学生以下のおさま向け/未就学児は要保護者同伴 <紙芝居がはじまるよ!> 8/11(日・祝) 10:30～ 「せかいー大きなケーキ」ほか 出演:山下康(横浜紙芝居普及会) <子ども映画会> 8/14(水)、15(木) 各日10:30～ 「大きい1年生と小さな2年生」(1981年 学研)ほか <ワークショップ> ※5歳以上小学生以下限定/保護者同伴必須 8/24(土) 10:30～/14:00～ 「ロボット・カミイのなかまたちをつくろう!」 講師:堀内紅子
- ④かなぶんひろば・おはなし会 8/20(火)、28(水) 各日10:30～/14:00～ 絵本・紙芝居のよみかかせを予定 出演:童心社スタッフ 参加無料(要展示観覧料)・申込不要
- ⑤スライドトーク(職員による展示解説) 8/31(土)、9/22(日・祝)、28(土) 各日14:00～ 参加無料(要展示観覧料)・申込不要

ACCESS ※駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

<東急東横線直通・みなとみらい線> 元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口) から徒歩10分
<バス> 神奈川中央交通バス①系:桜木町駅～保土ヶ谷駅/横浜市営バス②⑩系:桜木町駅～山手駅/観光スポット周遊バス「あかいくつ」 いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
<JR 根岸線> 石川町駅下車 元町口(南口) から徒歩20分



次回展示
特別展「安部公房展
——21世紀文学の基軸」
2024年10月12日(土)
～12月8日(日)

表面図版:『全集 古田足日子どもの本』全13巻・別巻(1993年11月 童心社)装画から タイトルの左右4点=◎田畑精一 上から1列目(左から2点ずつ)=◎おぼまこと/◎西巻茅子/◎遠藤てるよ 2列目=◎織茂恭子/◎谷口広樹/◎田島征三 3列目=◎和歌山静子/◎太田大八/◎滝平二郎 4列目=◎梶山俊夫/◎伊藤秀男/◎長谷川集平

刊行50年 まっくらやみに まけない 子どもの心のために
おしれのぼうけん
累計 240万部のロングセラー
本展にてピエソグラフを展示 ふるたたるひ・たばたせいいち◎さく 定価1,540円(本体1,400円+税10%)
ミニ投影ライト プレゼントキャンペーン実施中!
まっくらやみに ねずみばあさん あらわる!?
応募用 QRコードはこちら
童心社